



「情報」・「居場所」・「支援」ももっとあなたのそばに

5 生活支援コーディネーターがつなぎます

生活支援コーディネーターを
存知ですか？
生活支援コーディネーターは、
別名「地域支え合い推進員」とも
呼ばれ、一人ひとりの元氣な暮ら
し、支え合いの地域づくりを、住
民や関係機関と一緒に進めて推
進する「つなぐ専門職」です。



生活支援コーディネーター（左から水野、山本、松岡、戸川、松本）

今後も、倉敷の「地域の宝物」
を、生活支援コーディネーターは
関係機関と協働しながら、寄り添
い、磨きあげるお手伝いを続け
てまいります。

豪雨二モメケズ、復興の原動力
となっている、地域が培ってきた
文化や取り組み、なじみのつな
がりを、私たちは「地域の宝物」と
呼んでいます。

「情報」や「居場所」・「支援」・
「支え合い意識」をつなぐなかで、
これまで住民同士の関係性から生
まれた、たくさんの「お互いさ
ま」が、住民手づくりの「支え合
い」に広がる場面に数多く出会
い、ともに活動することができまし
た。

この事例集は発災から半年の地
域の支え合い活動を中心にとめ
たものです。
今回の豪雨災害において、生活
支援コーディネーターは、「今だ
からこそその地域支援」を合言葉に、
それぞれの被災地区を担当し、ま
ず、地域の方に地域の実情を教え
てもらったことから始めました。

生活支援コーディネーターによる被災地支援



通いの場の再開支援



仮設団地の居場所づくり



情報発信



他機関との連携



話し合いの場への参加



新たな地域活動のバックアップ